

学校教育目標

あたたかく豊かな心を持った たくましいひとを育てます

めざす児童像

人と対話したり、いっしょに活動したりする中で、自分の持つ力に気づき、伸ばそうとする子。
「笑顔」「挑戦」
「自分の言葉で伝えよう」

めざす学校の大人の姿

感動し、感謝し、学びを楽しむ大人。
「主役である児童のみなさんを一生懸命支えます」

中郷小児童会がめざす学校

- ・明るいあいさついっぱい
- ・楽しい児童会イベント

- ・みんなが笑顔で前向き
- ・思いやりいっぱい 助け合い
- ・挑戦をあきらめない

気づき、考える子

【自分からすすんで、学びたい】

- 「なぜだろう、知りたいな、わかりたいな、できるようになりたいな」を大切にしよう。
- タブレットをかしこく活用しよう。
- 読書で心を豊かに、言葉を豊かにしよう。

たくましい子

【やってみよう、続けてみよう】

- 何にでも挑戦する気持ちと、その前向きな気持ちを支える健康な体づくりを大切にしよう。
- 「これは自分の命の危険につながるかも」と気づくことができ、安全な行動ができる力をつけよう。

みとめあう子

【友だちを思いやる心】

- 学級や学年のひとりひとりのよさを見つけ、認め合おう。
- きまりの意味を考え、守り、誰もが安心して通える学校をつくろう。

家の学び・地域での学び

【地域には専門家がいっぱい】
【わたしも地域の一員】

- 教室の中や教科書で学んだことを、地域で体験したり、自分の生活につなげよう。

- 「?」「!」でいっぱいの学習
 - ・自分の「?」をたいせつに。どうしたら解決できそうかな。
 - ・解決の方法を自分で選ぼう。
 - ・「できた!」「わかった!」「なるほど」

○自分の考えを伝えてみよう
(タブレットの活用)

- ・自分の「!」をみんなのものに。
- ・他の人の考え方から、新しく学べる。「なるほど」「おもしろい」
- ・考え方を教え合おう。
- ・「もっと調べてみよう」「これについてはどうかな」自分の学びをより深めたくなったり。

○読書を楽しもう

- ・図書館は「?」と「!」の宝の部屋
さまざまな知恵、考え、思い、そし
それを表現する本(言葉)にふれよう。

- 基本的な生活習慣を身につけて、健康な心と体をつくろう
 - ・早寝早起きをして、しっかり朝食をとろう
 - ・家族や地域の人、友だちや先生と、あいさつをして心を通わせよう
 - ・食や睡眠について学び、自分の生活に取り入れよう。
 - ・自分のこころの持ち方について知ろう。

○「あきらめない」心を、運動を通して自分の中に育てよう
いろいろな運動に挑戦して楽しもう

- ・マラソン、縄跳び「こつこつ」体力づくり
- ・授業を通して様々な運動に励み親しもう

○自分や相手の命を守ろう

- ・「こうしたら、どうなるかな、危険なこ
とにつながらないかな。」を考えよう。

- 誰もが活躍できる
 - ・「自分は誰かのために、みんなのためにこんなことができそうだ、やろう」
 - ・「○○さんは、みんなのためにこれをしてくれている。ありがとう。」
 - ・話し合い活動を大切にしよう。
 - ・児童会活動の活性化
「自分たちの力で楽しい学校をつくろう」
 - ・その人らしさ、その人のよさを認め合って、みんなが輝こう。

○誰にとっても居心地の良い学級や学校をみんなでつくろう

- ・「自分がされていやなことは他の人にもしない」(相手の立場・気持を考えて行動しよう。)
- ・「誰かが悲しんでいるのを放ってはおけないよ。」
- ・困ったときは信頼できる大人に相談しよう。
相談できそうな相手を増やそう。

○ふるさとについて魅力を発見・
発信しよう

- ・「敦賀(自分の住む町)ってすばらしい」
- ・「これが敦賀の自慢だよ」
- ・敦賀の歴史、自然、産業、遺産について、もっと知りたいな。調べたいな。
- ・敦賀のまちづくりに参画したいな。
「どんなことができそうだかな」

地域の人たちはどんなことを大切にしてきたのだろう。
将来は自分も地域の役に立ちたいな。

○自分も他人も傷つけず安全に、
賢くネットを活用しよう

- ・ネットルールにそって、家でも学校でも、安全な活用の仕方を考えて行動しよう。
「顔が見えない相手だからこそ言葉に礼儀と思いやりをもとう。姿が見えない無数の相手だからこそ発信するときは慎重にしなくちゃね。」